
2025. CY搬入情報訂正

業務コード	業務名
CYC	CY搬入情報訂正

1. 業務概要

CYに蔵置されているコンテナで「CY搬入確認登録（CYA）」業務等で登録した内容の訂正及びCYA業務で誤って登録した輸出コンテナ番号の取消しを行う。

また、一定の項目について、複数のコンテナに対する一括訂正を行う。

なお、訂正の場合は、入力された項目のみ訂正対象とする。

2. 入力者

CY

3. 制限事項

1業務で入力可能なコンテナ番号は、最大30件とする。ただし、取消しの場合は、1件のみとする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②当該コンテナ番号の搬入確認を行った利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 船舶DBチェック

訂正の場合は、入力された船舶コードに対する船舶DBが存在すること。

(4) コンテナ情報DBチェック

(A) 訂正の場合

- ①入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在すること。
- ②入力者が管理する保税地域に蔵置されていること。
- ③訂正対象コンテナに係る貨物がマニュアル輸出許可済貨物である旨が入力された場合は、「バンニング情報登録（コンテナ単位）（VAN）」業務、「バンニング情報登録（輸出管理番号単位）（VAE）」業務または「バンニング・CY搬入情報登録（VAH）」業務（以下、「VAN業務等」という。）がされていないこと。また、空コンテナの旨が登録されていないこと。
- ④空コンテナの旨が入力された場合は、VAN業務等がされていないこと。
- ⑤事故情報が登録されているコンテナの場合は、税関による事故確認登録がされていること。

(B) 取消しの場合

- ①入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在すること。
- ②入力者が管理する保税地域に蔵置されていること。
- ③CYA業務で搬入された輸出コンテナであること。
- ④当該CYにおいて「積戻貨物情報登録（RCR）」業務で登録されたコンテナでないこと。
- ⑤「船積情報登録（CLR）」業務により積コンテナリスト提出処理がされていないこと。
- ⑥事故情報が登録されているコンテナの場合は、税関による事故確認登録がされていること。

(5) 貨物情報DBチェック

取消しの場合で、入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在し、当該コンテナ情報DBに貨物管理番号*1が登録されていた場合は、以下のチェックを行う。

- ①当該貨物管理番号に対する貨物情報DBが存在すること。
- ②輸出貨物または積戻し貨物であること。
- ③保税運送されてきた貨物でないこと。
- ④当該貨物管理番号に係る貨物が入力者の管理する保税地域に蔵置されていること。
- ⑤当該CYにおいて輸出申告または積戻し申告がされていないこと。ただし、保税地域等に搬入される前に輸出申告等が行われた貨物（搬入後処理未済）を除く。
- ⑥数量変更にかかる輸出許可内容変更申請中でないこと。
- ⑦輸出取止め再輸入申告・特例輸出貨物の輸出許可取消申請事項登録中または輸出取止め再輸入申告・特例輸出貨物の輸出許可取消申請中でないこと。
- ⑧事故貨物の場合は、税関による事故確認登録がされていること。
- ⑨貨物取扱登録がされていないこと。
- ⑩貨物取扱許可申請がされていないこと。
- ⑪見本持出許可申請がされていないこと。
- ⑫「許可・承認等情報登録（輸出通関）（PAE）」業務がされていないこと。
- ⑬「許可・承認等情報登録（保税）（PSH）」業務により、以下の登録がされていないこと。
 - ・ 亡失届受理
 - ・ 滅却承認
 - ・ 現場収容
 - ・ 税関内収容
 - ・ その他の搬出承認
- ⑭貨物手作業移行されていないこと。
- ⑮貨物差止め登録がされていないこと。

（*1）貨物管理番号とは、B/L番号または輸出管理番号のことをいう。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「000000-000000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「000000-000000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) コンテナ情報DB処理

(A) 訂正の場合

当該コンテナ番号に対するコンテナ情報DBを更新する。

(B) 取消しの場合

- ①当該CYに搬入した旨を取り消す。
- ②バンニング情報登録がされていない場合は、削除表示を設定する。

(3) 貨物情報DB処理

取消しの場合で、コンテナ情報DBに関連付けられている貨物管理番号が存在する場合は、CYに搬入した旨を取り消す。

(4) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(5)) 注意喚起メッセージ出力処理

詳細は、後述 7. を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
エラー通知情報（輸出管理番号情報）	取消しの場合で、入力されたコンテナ番号に対して関連付けられた貨物管理番号が101件以上存在する場合	入力者

7. 特記事項

取消しの場合で、入力されたコンテナ番号に対する連付けられた貨物管理番号が101件以上存在する場合、多量の貨物管理番号を処理するため、以下の処理の流れとなる。

- ①入力チェック処理及びDB処理をした後、処理結果通知等の出力処理を行う。なお、内部処理を実行している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に併せて出力する。
- ②多量の貨物管理番号に対して、一定の小さな処理単位に分割して貨物情報DBチェックやDB処理等の内部処理を行う。
- ③すべての貨物管理番号に対する内部処理が完了した後、エラー通知情報（輸出管理番号情報）の出力処理を行う。
- ④内部処理で貨物情報DBチェックに合致しなかった貨物管理番号が存在する場合は、すべての貨物情報DBチェック終了後に一括してエラー貨物管理番号としてエラー通知情報（輸出管理番号情報）を出力し、処理を終了する。